

●グリーンインフラの取り組み 『多摩川らしい自然環境の保全・再生及び人と川のふれあい関連事業の推進』

○多摩川はその源を山梨県甲州市の笠取山に発し、途中多く支川を合わせながら東京都の西部から南部を流下し、東京都と神奈川県の間を流れ東京湾に注ぐ、一級河川であり、首都圏における社会、経済、文化等の基盤をなすとともに、都市地域における貴重な自然空間を有している。多摩川沿川では昭和30年代から急激な都市化が進行する中で、地域社会における河川敷の利用と自然環境の保全のあり方が重要な課題となった。このため、昭和55年(1980年)に全国初の河川環境管理計画が策定され、多摩川らしさを実現するガイドラインとして誕生した。

○多摩川らしい豊かな自然環境を保全・再生するため今後概ね10年間で魚道の整備、中流部レキ河原再生、干潟再生等の多摩川らしい自然環境の復元を実施するとともに、首都圏の貴重なオープンスペースにおいて魅力ある水辺空間・賑わい創出のため、地域と連携し、かわまちづくりや水辺の楽校の推進等、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

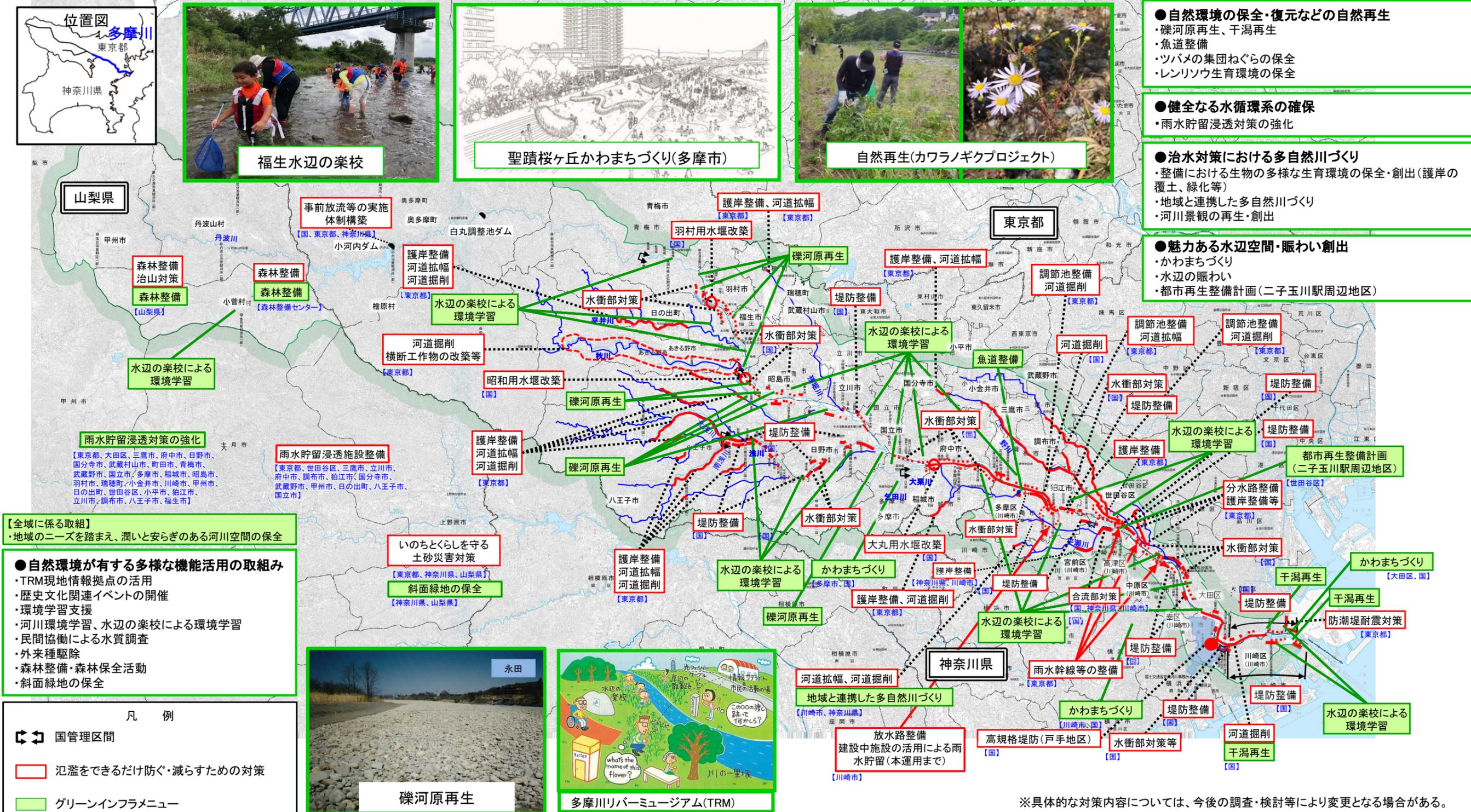


- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・礫河原再生、干潟再生
 - ・魚道整備
 - ・ツバメの集団ねぐらの保全
 - ・レンリソウ生育環境の保全

- 健全なる水循環系の確保
 - ・雨水貯留浸透対策の強化

- 治水対策における多自然川づくり
 - ・整備における生物の多様な生育環境の保全・創出(護岸の覆土、緑化等)
 - ・地域と連携した多自然川づくり
 - ・河川景観の再生・創出

- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
 - ・かわまちづくり
 - ・水辺の賑わい
 - ・都市再生整備計画(二子玉川駅周辺地区)



- 【全域に係る取組】
- ・地域のニーズを踏まえ、潤いと安らぎのある河川空間の保全
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
- ・TRM現地情報拠点の活用
 - ・歴史文化関連イベントの開催
 - ・環境学習支援
 - ・河川環境学習、水辺の楽校による環境学習
 - ・民間協働による水質調査
 - ・外来種駆除
 - ・森林整備・森林保全活動
 - ・斜面緑地の保全

凡例

- ◀▶ 国管理区間
- ◻ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ◻ グリーンインフラメニュー



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

多摩川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】（案）

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中長期		
グリーンインフラ の取組	自然環境の保全・ 復元などの自然再生	礫河原再生、干潟再生 魚道整備	京浜河川事務所			
		ツバメの集団ねぐらの保全 レンリソウ生育環境の保全	府中市			
	健全なる水循環系の確保	雨水貯留浸透対策の強化	都 市区町			
	治水対策における 多自然川づくり	整備における生物の多様な生育環境の保全・ 創出（護岸の覆土、緑化等） 地域と連携した多自然川づくり 河川景観の再生・創出	京浜河川事務所、 東京都、神奈川県、 八王子市、川崎市			
	魅力ある水辺空間・ 賑わい創出	かわまちづくり （聖蹟桜ヶ丘・羽田空港跡地・川崎市）	多摩市・京浜河川事務所 大田区・京浜河川事務所 川崎市・京浜河川事務所	 	環境学習等ソフト対策	
		水辺の賑わい創出 都市再生整備計画（二子玉川駅周辺地区）	川崎市、世田谷区、 八王子市、府中市			
	自然環境が有する 多様な機能活用の取組	TRM現地情報拠点の活用 歴史文化関連イベントの開催 環境学習支援	京浜河川事務所			
		河川環境学習、水辺の楽校による環境学習	世田谷区、大田区、青梅市、 福生市、昭島市、立川市、 府中市、調布市、狛江市、 稲城市、多摩市、日野市、 八王子市、あきる野市、 羽村市、川崎市、小菅村			
		民間協働による水質調査	八王子市、日野市、福生市			
		外来種駆除	青梅市、狛江市、調布市、 八王子市、日野市、府中市			
		森林整備、樹林保全活動	山梨県、東京都、小平市 森林整備センター			
		斜面緑地の保全 （いのちとくらしを守る土砂災害対策）	神奈川県、山梨県			



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。